



決算報告

9月の定例議会で、令和3年度の一般会計と2つの特別会計、2つの公営企業会計の決算が認定されました。その主な内容をお知らせします。

問い合わせ 総務課

コロナ禍や世界情勢などの影響を大きく受けた1年間

令和3年度は前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたほか、年度末にはロシアによるウクライナ侵攻が発生し、対応に苦慮する1年となりました。

ワクチン接種がスタート。岡垣町は県内でも高い接種率に

喫緊の課題であった新型コロナウイルスワクチンの接種に関しては、安全かつ円滑に行うための体制を整え、岡垣サンリーアイなどでの集団接種をはじめとするワクチン接種を、昨年5月から開始しました。なお、国が現在集計している全国の接種率によると、岡垣町は県内でも高い接種率を示しており、希望する人への接種が順調に進んでいるといえます。

感染症対策に関する事業などを着実に進めました

コロナ禍が住民生活や地域経済に大きな影響を及ぼしていることから、子育て世帯への臨時特別給付金をはじめとする国の新型コロナウイルス感染症対策事業のほか、町独自の経済対策・生活支援などを適時に行うため、第1号から第9号までの補正予算を編成し、各事業に取り組みました。

令和3年度の収支の状況

一般会計決算額の実質収支は、令和4年度に繰り越す必要がある財源がなかったため、収入と支出の差引額と同額の6億7千万円となりました。
令和3年度の純粋な収支である単年度収支は2億1,950万円、実質単年度収支は2億2,184万円、円の黒字となりました(表1・2)。

表1 単年度収支の算出

令和2年度 実質収支額 (A)	4億 5,050万円
令和3年度 実質収支額 (B)	6億 7,000万円

単年度収支額 (B - A)	2億 1,950万円
-------------------	------------

※当該年度と前年度の実質収支の差額

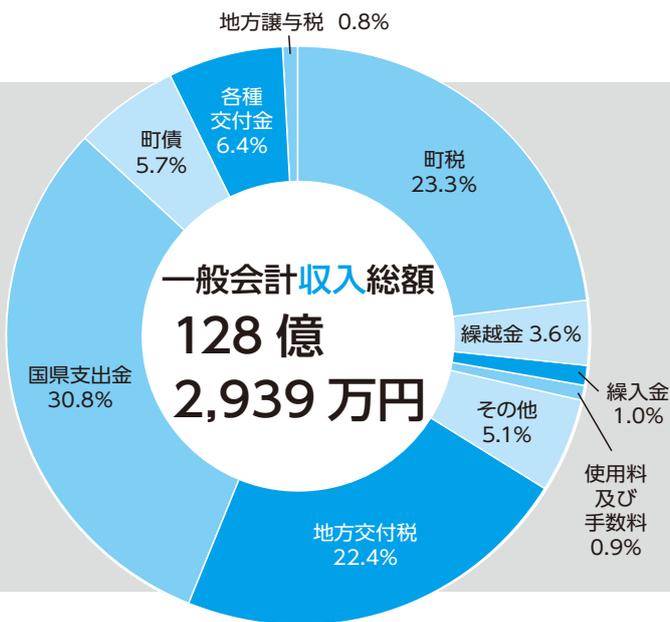
表2 実質単年度収支の算出

単年度収支額 (C)	2億 1,950万円
財政調整基金積立額 (D)	233万円
財政調整基金取崩額 (E)	-

実質単年度収支額 (C+D-E)	2億 2,184万円
---------------------	------------

※単年度収支額に財政調整基金への積み立て分を追加し、取り崩し分を引いた額

※数値の表示単位未満を四捨五入しているため、差引額などが一致しないことがあります。



収入総額は128億2,939万円となり、前年度から18億302万円減少しました。

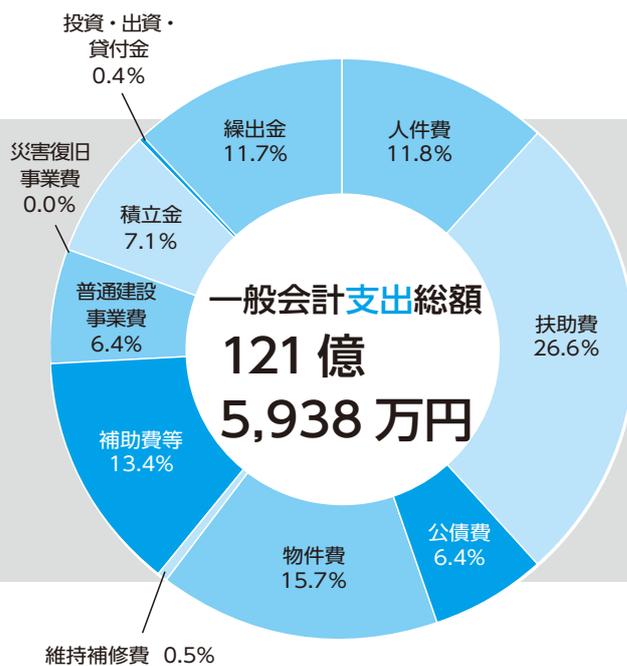
前年度に比べ、ふるさと納税による寄附金が増加した一方、町民税や固定資産税などの町税が減少。そのほか、基金の取り崩しである繰入金も減少しました。

国や県などからの依存財源は、地方交付税や地方消費税交付金が増加した一方、特別定額給付金事業にかかる補助金の減少により、国庫支出金が大幅に減少。そのほか、金融機関からの借入金である町債が減少しました。

支出総額は121億5,938万円となり、前年度から20億1,072万円減少しました。

前年度に比べ、社会保障費などの扶助費や繰出金、町債の返済金にあたる公債費が増加したほか、新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施により物件費が増加しました。

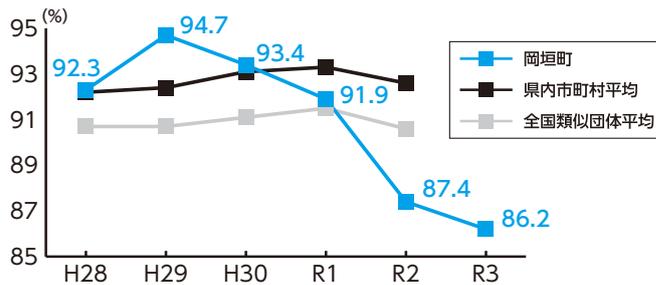
一方、特別定額給付金事業費の減額により補助費等が減少したほか、町営住宅三吉団地建設工事が令和2年度に完了したことなどにより、普通建設事業費が減少しました。



新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける状況ではありましたが、「第6次総合計画」の基本目標に沿った施策を推進し、まちの将来像「自然と共生するしあわせ実感都市岡垣」の実現を図るための事業に取り組みました。なお、主な取り組みの内容は6ページから紹介します。

令和3年度の主な取り組み

図1 経常収支比率の推移



※経常収支比率…人件費などの経常的に支出される経費と、町税などの経常的に収入される一般財源との比率。数値が低いほど財政状況に余力があるとされる。

また、財政状況の余力を示す経常収支比率は、前年度に比べ1.2ポイント改善し、86.2%となりました(図1)。

令和3年度に実施した主な取り組みを紹介します

町の将来像の実現に向けて。



観光振興

観光協会などと連携しながら、観光に関する情報発信に取り組みました。また、リョカンピングやフルーツライドなど新たな観光商品の開発を支援するなど、地域資源を活かした観光の推進を行いました。

3,477万円



三里松原の保全



216万円

三里松原の保全活動に取り組んでいる三里松原防風保安林保全対策協議会やアダプト制度への参加団体と連携し、松葉かきなどの保全活動を実施しました。



小規模保育施設の整備



安全で快適な保育環境の整備や保育定員の拡充を図るため、2つの小規模保育事業所の施設整備費に対する補助を行いました。

8,577万円

それぞれの取り組みが、第6次総合計画に掲げる5つの基本目標のどの分野にあてはまるかを、下のアイコンで示しています。

●自然を守り、活かし
交流を生むまち



●人・つながりが
育つまち



●安全・快適に暮らせる
持続可能なまち



●地域資源を活かし
発展するまち



●誰もが元気で
自分らしく暮らせるまち



+ 計画推進の基盤



※数値の表示単位未満を四捨五入しているため、差引額などが一致しないことがあります。

そのほかの取り組み

自然を守り、活かし
交流を生むまち 

- 荒廃した森林の整備 968 万円
- 生活環境改善事業 537 万円
- 地球温暖化防止対策事業 21 万円
など

地域資源を活かし
発展するまち 

- 農業用施設の整備 2,497 万円
- ため池の防災対策 2,886 万円
- 漁業の振興 702 万円
- 商工業の振興 1,158 万円
など

人・つながりが
育つまち 

- 母子への産後ケア事業を実施 29 万円
- 小中学校の施設整備 1 億 1,854 万円
- 英語教育の充実 1,451 万円
- 岡垣サンリーアイの管理運営 2 億 2,017 万円
など

誰もが元気で
自分らしく暮らせるまち 

- 子ども医療費の支援 1 億 1,348 万円
- 健康づくりの推進 3,117 万円
- 高齢者福祉サービスの実施 6,896 万円
- いこいの里の運営 5,412 万円
など

安全・快適に暮らせる
持続可能なまち 

- 第4次公共交通体系整備計画の策定 701 万円
- 道路や橋の環境整備 2 億 351 万円
- コミュニティバスの運行 5,965 万円
- 国道3号岡垣バイパス4車線化の促進 75 万円
など

+ 計画推進の基盤 

- 組織改編による情報発信力・
デジタル推進力の強化 3,106 万円
- コミュニティ活動への支援 606 万円
- 広報おかがきの発行など 548 万円
- ボランティアセンターの運営 700 万円
など

都市計画マスタープラン・
 立地適正化計画^(※) 策定

1,728 万円

都市計画審議会を開催し、第2次都市計画マスタープランと立地適正化計画の策定に向け、審議しました。また、まちの都市計画の現状や将来の見通しについて調査する都市計画基礎調査を実施しました。

※行政・住民・事業者が一体となった「持続可能なまちづくり」を進めるための計画



 通学路などの
交通安全施設整備

小中学校やPTA、自治区の要望をもとに、道路管理者、警察などと合同点検をし、老朽化した施設の更新やガードパイプなどの交通安全施設を整備しました。



4,910 万円



 河川等
監視システムの整備

501 万円

災害時の迅速な状況把握による初動体制の強化を図るため、河川の氾濫による道路の冠水状況などを監視できるカメラを、町内の5つの河川沿いに計6台設置しました。

新型コロナウイルス感染症対策 に関する主な事業

新型コロナウイルス感染症に関する事業は、国や県からの補助金などを有効に活用して実施しました。次のとおり、事業の一部を紹介します。

住民生活への支援

経済的な負担を軽減するため、令和3年4月に予定していた上下水道料金の改定を延期しました。また、住民税非課税世帯に1世帯あたり10万円を給付する臨時特別給付金事業を実施しました。

【主な内容】

■住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金	3億 3,436 万円
■自宅療養者への生活支援	246 万円
■上下水道料金改定の延期に伴う上下水道会計への補助	2,006 万円



教育・子育て支援

子どもたちの学習機会を保障するため、家庭学習用の通信機器の整備を行いました。また、子育て世帯の経済的負担を軽減するための給付金や商品券の給付を行いました。

【主な内容】

■子育て世帯への臨時特別給付金	5億 1,044 万円
■家庭学習のための通信機器整備	565 万円
■小中学校に ICT 支援員を設置	1,315 万円

新型コロナワクチン接種

医師会や町内の医療機関と連携し、ワクチン接種を安全かつ円滑に行うことのできる体制を整え、岡垣サンリーアイなどで集団接種を行いました。

【主な内容】

■新型コロナワクチン接種事業	3億 2,742 万円
■ワクチン個別接種実施協力金	186 万円



9,758 万円

事業者の支援

緊急事態宣言などにより、経済活動を制限された事業者を支援するため、岡垣町独自の緊急経済対策などを行いました。

【主な内容】

■プレミアム商品券の発行補助	4,538 万円
■中小事業者等への支援	2,130 万円

感染予防対策

公共施設などでの感染を防止するため、マスクや消毒液、空気清浄機などを購入しました。また、接触感染の機会を減らすため、公共施設の手洗い場の水栓を非接触式の自動水栓などに改修しました。

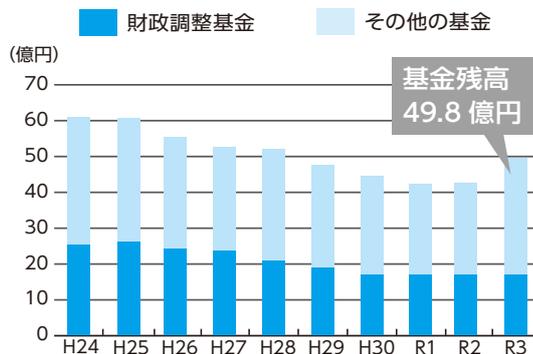
【主な内容】

■手洗い器具などの改修	1,854 万円
■空気清浄機、CO2 測定器の導入	474 万円



※数値の表示単位未満を四捨五入しているため、差引額などが一致しないことがあります。

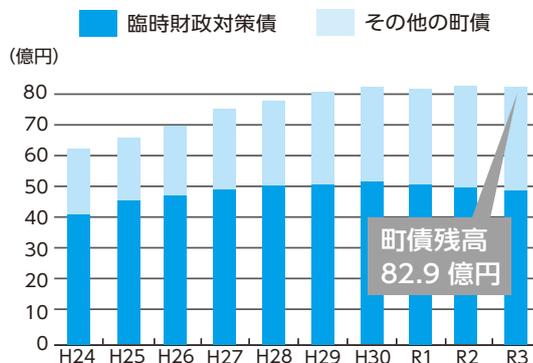
図2 基金残高の推移



基金と町債

令和3年度は、基金から1億2595万円を取り崩しましたが、積み立て額が8億5570万円となったため、基金残高は前年度末から7億2975万円増加しました(図2)。基金残高の増加は、平成24年度決算以来の増加となった前年度に続き、2年連続となりました。一方、令和3年度の町債借入額は、前年度末から818万円減少し7億2732万円に。町債残高は前年度末から1481万円減少しました(図3)。

図3 町債残高の推移



財政状況は改善。しかし財源確保の課題も

町では近年、基金残高の減少と町債残高の増加が続いたため、行政改革推進計画の実行に加え、継続した事務事業のスリム化に取り組んできました。この結果、住民の皆さんのご協力もあり、令和3年度決算では前年度に引き続き「基金残高を維持し、かつ町債残高を増やさない」という目標を達成できました。しかしこの結果は、地方交付税などの「依存財源」の増加による影響も少なくありません。健全な

このことから、国の予算などを引き続き活用しながら、適時に対策を講じていくとともに、コロナ禍や原油・物価高騰などによる住民生活への影響を注視し、財政運営を行うことが重要です。コロナ禍などの今直面している課題、人口減少や急速に進む少子高齢化への対応。今後の岡垣町を取り巻く状況を踏まえた「持続可能なまち」の実現に向け、今後も財源確保や経費削減のための取り組みを継続しながら、長期的な視点による、効率的で健全な財政運営を行います。

財政運営を安定して維持していくため、財政運営上の大きな課題である、町税をはじめとする「自主財源」の確保について、今後おかがき応援寄附金や企業版ふるさと納税などの取り組みを積極的に進めます。

国の予算などを活用し 健全な財政運営に取り組みます

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は減少傾向にあるものの、住民の皆さんの生活や経済活動への影響は続いています(10月7日時点)。また、ロシアによるウクライナ侵攻などに伴う原油・物価高騰は、令和3年度決算への直接的な影響は無かったものの、令和4年度予算にはすでに影響が及んでいます。

国民健康保険事業	
収入	35億2,862万円
支出	32億6,335万円
後期高齢者医療事業	
収入	6億819万円
支出	5億8,873万円

特別会計

水道事業		
	収益的収支	資本的収支
収入	5億6,182万円	1億2,466万円
支出	4億9,574万円	3億2,436万円
下水道事業		
	収益的収支	資本的収支
収入	8億3,484万円	8億317万円
支出	6億4,919万円	7億9,515万円

※収支金額は税抜き金額。資本的収支の不足額は、公営企業に留保している資金で補っています。

公営企業会計

令和3年度 **公営企業会計** 特別会計

2つの公営企業会計と2つの特別会計の令和3年度決算額をお知らせします。